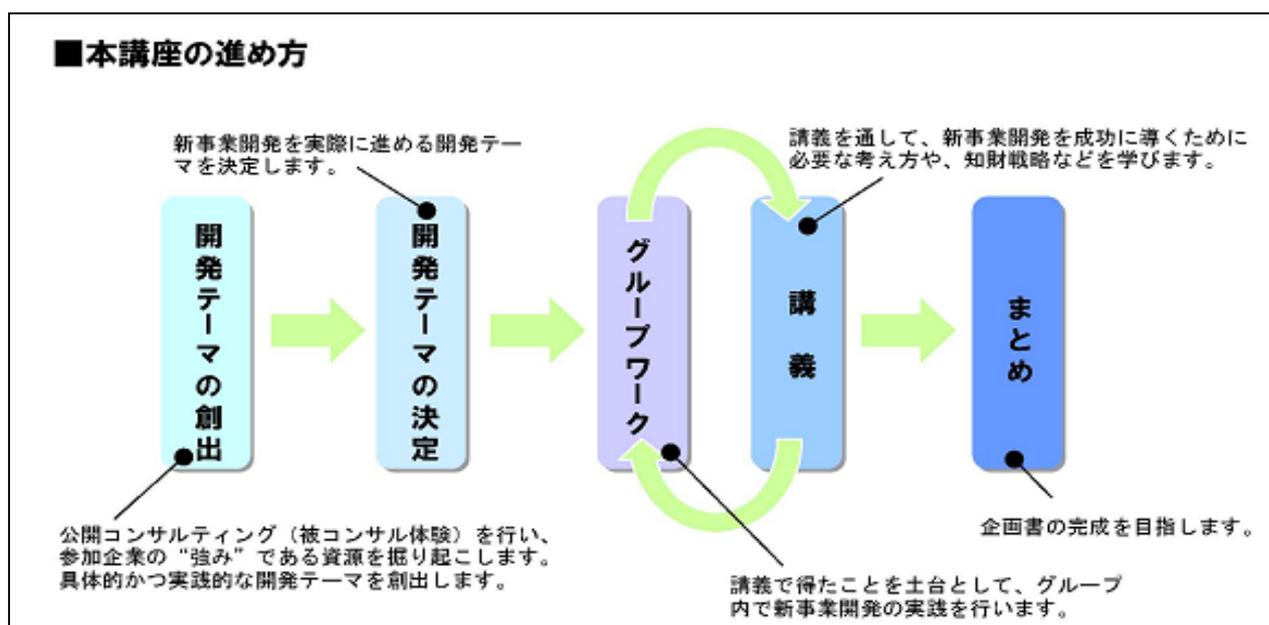


「ビジネス アライアンス講座 i n 青森」

東日本大震災からの東北地域産業の復興には新しいビジネスの創出など企業活動の活発化が不可欠であり、そのためには、ビジネスを生み出すスキル、ノウハウを持った人財、生み出した特許等の知財の保護、活用ができる人財、企業間連携のためのネットワークを持った人財の育成が必要と考えている。本講座は、こうした人財を育成するため、フィールドアライアンス（企業や個人の持っているフィールドを共有・拡充し、ビジネスを活性化させる）という理念の下、ビジネスをプロデュースできる能力を開発し、異業種のネットワークを構築するものである。

【講座の進め方】

講義とグループワークを交互に行う実践型の講座であり、生み出した特許等の知財の保護・活用についても学んだ。受講者が共同でビジネスモデルを創りあげていくグループワークを通じて、受講者同士のネットワークが構築される。



【参加者】

企業の事業開発、経営企画、知財の新規事業開発等を担当する幹部候補生等を募集。

青森県及び岩手県の企業から16名が受講し、修了書を授与した。

【共催・後援】

共催：一般社団法人青森県工業会

後援：青森県

【講義実施概要】

	開催日	時間	カリキュラム
第1回	9月8日(火)	13:00-19:00	開講式 講義「これからのビジネス概念“FieldAlliance”」 グループワーク演習と発表
第2回	9月24日(木)	10:00-17:00	講義「ビジネスプロデューサーの必要性と役割」 「ビジネスモデル概論」 公開コンサルティング体験（資源発掘） 開発テーマの決定
第3回	10月8日(木)	10:00-17:00	講義「ビジネスモデルを堅守する知的財産戦略」 グループワーク
グループ活動			
第4回	10月22日(木)	10:00-17:00	講義「ビジネスモデルの勘所」 「ビジネスをプロデュースする視点」 中間発表 グループワーク
グループ活動			
第5回	11月5日(木)	13:00-19:00	講義「開発型人材ビジネスプロデューサーとFieldAllianceの時代」 グループワークの成果発表 閉講式

【講義の様子】



【グループワークの様子】



【成果発表】

講座最終日に、4つのグループのビジネスモデルの発表が行われた。

(1) 「三年豆腐」

栄養価の高い豆腐の賞味期限を3年延ばすことにより、災害用備蓄食品・発展途上国援助食品として使用できるほか、介護食やダイエットサプリなどの開発により様々な市場へ参入していく。

(2) 「ほのぼの恩暖（温暖）」

輻射熱を利用した融雪対策や住宅の暖房効率を上げると共に、ほのぼの恩暖を取り入れた都市計画を進め、将来的には企業誘致事業も展開する。

(3) 「ブルーモリスセルフコーチングスキー」

低迷しているスキー市場再創出のため、センサー搭載型スキーの開発で、走行データを見ることができる新たな楽しみ方の提案や、スキー場との連携によるイメージアップ戦略、また、ゲーム市場への参入も行う。

(4) 内装プロジェクション

介護施設の内装（壁紙）を利用して映像を映し出すアプリの開発。行きたい場所の映像はもちろん、自宅にカメラを設置することにより、自宅にいる家族との会話も可能。要介護者の心の安定と家族の安心を届ける。

【成果発表の様子】



【全講座修了後の集合写真】

